

視聴覚教育時報

No.718 2019年 12月号

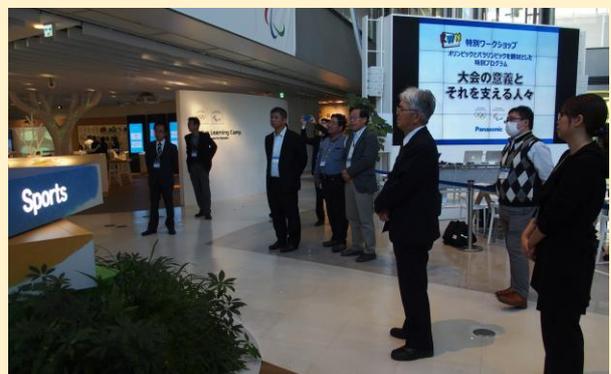
contents

- ▽令和元年度 全国大会報告①—全視連理事会・センター総会、セミナー、実践発表など
- ▽講師派遣事業 令和元年度 第60回愛媛県視聴覚教育研究大会
- ▽専門委員日より「『わくわく映画館』の営み」佐野真哉
「埼玉県春日部市視聴覚センターの特色ある講座の紹介」樋口 誠
- ▽NEWS 「eスクール ステップアップ・キャンプ2019 西日本大会」
- ▽えすけーぷ

▽令和元年度 全国大会報告①—全視連理事会・センター総会、セミナー、実践発表など

去る11月8日(金)・9日(土)の両日、第23回視聴覚教育総合全国大会並びに第70回放送教育研究会全国大会合同大会が、「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」をテーマに開催された。1日目は東京都および埼玉県内の各会場で、2日目は東京都台東区立台東育英小学校にて開催された。

1日目は各会場園・校、施設において公開保育・授業、研究交流などを実施、全視連はパナソニックセンター東京において施設見学や事業紹介、理事会・総会などを内容として32名の参加者を得て実施した。



パナソニックセンター東京での施設見学

○全視連理事会／センター総会

施設見学の後、全視連の理事会および全国公立視聴覚センター連絡協議会の総会を同センターにおいて実施した。理事会では令和元年度事業経過報告書(案)および同中間決算報告書(案)が、全国公立視聴覚センター連絡協議会の総会では平成30年度事業報告書(案)、決算報告書(案)および令和元年度事業経過報告書(案)、中間決算報告書(案)、役員改選などが提案され承認された。



理事会・総会



功労者表彰式



全視連セミナー



実践発表

○功労者表彰式

大会2日目の全体会の中で各団体の功労表彰式が執り行われ、全視連は10名の功労者のうち6名の方々が出席し、鈴木等副会長から盾を一人ひとりに授与された。

○セミナー／実践発表

2日目午前は7つのセミナー・ワークショップが実施され、全視連ではセミナー「地域メディア

センター事業事例研究」について基調提案がなされ、それをもとに意見交換などを行った。

午後からは9つの実践発表があり全視連は「春日部市視聴覚センターの取り組み」をテーマに樋口誠氏（春日部市視聴覚センター）、「16ミリ機材の研修機会提供や映画会などの技術支援」をテーマに増山和宏氏（宇都宮市立視聴覚ライブラリー）による発表が行われた。

○全体会



開会式では主催者挨拶に続き、萩生田光一文部科学大臣祝辞が文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課の高谷浩樹課長により代読された。

○講演



アレックス（株）代表取締役社長兼 CEO（Google 日本法人前社長）の辻野晃一郎氏をお招きし、グローバルビジネスの視点から「変化の時代はチャンス時代」、「出る杭になる勇氣」「自らが光る人になって闇を照らす」などの今後の教育のあり方に多くの示唆をいただいた。

令和2年度 第24回視聴覚教育全国大会合同大会 第71回放送教育研究会全国大会
合同大会（大阪大会）

1. 日時 令和2年11月13日（金）・14日（土）
2. 会場 岸和田市立常盤幼稚園、岸和田市立大宮幼稚園、岸和田市立岸城幼稚園、大阪市立阿倍野小学校、大阪市立宝栄小学校、泉佐野市立第三小学校、大阪市立大和川中学校、箕面自由学園高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校、大阪府立岸和田支援学校、大阪大学 ほか

▽講師派遣事業 令和元年度 第60回愛媛県視聴覚教育研究大会

全視連の講師派遣事業を活用し、鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授の泰山裕氏を講師として、表記研修会の講演が実施された。

1. 日時：10月23日（水）13:50～15:30
2. 会場：愛媛県生涯学習センター
3. 参加者：学校関係者、社会教育関係者、県・市町教育委員会関係者、県・市町視聴覚センター・ライブラリー関係者、視聴覚教育の振興に携わる団体や企業関係者（14名）
4. 講師：泰山裕准教授（鳴門教育大学大学院学校教育研究科）
5. 講演テーマ：「思考力を育てるICT・視聴



覚メディアの活用」

6. 講演要旨

- 学校の授業で求められる「思考スキル」の種類が、多面的に見る▽分類する▽比較するーなど約20種類に分けられると指摘。「比較する」ならそれぞれの範囲を視覚的に図式化した「ベン図」を利用するなど、目的に合った「思考ツール」を使うことで効果的に子どもの考えを可視化・整理できるとした。
- テレビ番組を見せ「子どもに何を考えさせるか」を検討し、「それを考えさせるためにどんな思考ツールが必要か」などを話し合うワークショップを実施した。



▽専門委員だより「『わくわく映画館』の営み」

仙台市教育委員会生涯学習課主査 佐野 真哉（全視連専門委員）

子どもたちの「がんばれー！」「かわいい！」「やったあ！」等々の声援があったり、「キャー！！」という悲鳴が会場に響いたり、時には涙したり・・・。

本市では、市内の幼児・児童・生徒を対象に優れた映画を鑑賞する機会として、「わくわく映画館」を実施しています。せんだいメディアテークに備えられている16ミリ映写機を活用して、映画・録画教材を紹介するとともに、社会教育における教材映画の利用促進、子どもたちの健全育成を図ることをねらいとしています。

今年度は小学校や社会教育施設を会場に全12回の上映会を行いました。実際の運営は、仙台視聴覚同好会に業務を委託して進めてもらっています。上映が始まると、子どもたちだけでなく、付き添いの保護者の方々も、どんどん映画にのめり込んでいく姿に驚かされます。また、上映中、16ミリ映写機から聞こえてくるカタカタカタカ



タという音は、子どもよりも大人にとって、どこか懐かしく、非常に心地よいものです。

上映後は、仙台視聴覚同好会の方が映画フィルムを実際に見せたり、16ミリ映写機について説明したりと子どもも保護者も興味津々。映写機についての質問は、大人からの方が多く感じます。心温まる「わくわく映画館」のひと時です。

▽専門委員だより「埼玉県春日部市視聴覚センターの特色ある講座の紹介」

春日部市視聴覚センター指導主事 樋口 誠（全視連専門委員）

1. はじめに

春日部市視聴覚センターは「視聴覚教育を通じ、市民の生活文化と知識の向上及び学校教育と社会教育の振興を図ること」を目的に設置されている。果たすべき機能として3つ掲げられている。

★研修・学習センターとしての機能

★教材センターとしての機能

★情報・研究センターとしての機能

今回は1つ目に掲げられている研修・学習センターとしての機能のうち、特色ある講座をいくつか紹介する。

2. 特色ある講座の内容

（1）障がい者対象PC講座

「具体的な講座名」

①視覚障がい者対象PC講座

②聴覚障がい者対象PC講座

「対象」

市内在住、在勤、在学の視覚障がい者、聴覚障がい者

「内容」

①パソコンの起動の仕方からウィンドウズの実行方法、インターネットやメールの利用方法を学ぶ。

*使用ソフトはPC-Talker

②パワーポイントの操作方法を学ぶ。

「障がいへの支援」

①地域のボランティアと連携し、視覚障がい者が操作しやすいように指導者として協力していただいている。

②社会福祉協議会の協力を得て、手話通訳者を2名招聘し、講座内容を手話通訳していただいている。

「成果」

参加して頂いた受講生には、大変好評である。

他の内容での講座の要望もあった。

「課題・今後の取り組み」

合理的な配慮に基づいて、多数ある健常者対象講座に障がい者が参加できる環境を整えていく必要がある。そのためには、ボランティアや手話通訳者等への謝礼をさらに予算化するだけでなく、講座内容の工夫も考えていきたい。

また、年度によっては、受講生が集まらず講座が開催できないこともあった。そのため今後は、ソフトや講座内容を刷新していきたい。



聴覚障がい者対象PC講座

（2）教職員対象講座

「具体的な講座名」

①ホームページ作成研修

②ICT管理・活用研修

③タブレット入門研修

④タブレット活用研修

⑤タブレット授業実践研修

⑥プログラミング入門研修

⑦情報モラル研修

⑧校内研修

*年間に複数回実施している講座あり

「対象」

市内小中学校の教職員

「内容」

①ホームページ作成、ブログ活用方法を学ぶ。

②情報漏洩対策、ウイルス対策、情報モラル、プログラミング教育等のICTに関わる知識を学ぶ。

③タブレットの起動、終了等、使い方の基礎を学ぶ。

④タブレットを効果的に利用する方法を学ぶ。

⑤タブレットを効果的に利用した授業実践を学ぶ。

⑥プログラミング教育の教科への位置づけ方、プログラミングのソフトの活用方法等を学ぶ。

⑦情報モラル教育についての効果的な指導方法を学ぶ。

⑧依頼のあった市内の学校に訪問し、様々なICT活用等の知識を学ぶ。

「成果」

参加して頂いた受講生には、大変好評である。

参加した受講生同士の情報交換の場にもなっており、繰り返し参加する受講生も多い。

「課題・今後の取り組み」

多くの研修が18:00からの夜間の自主研修のため、受講生が少ない状況になっている。

そのため、今後は校内研修を中心にこちらから積極的に研修の必要性を訴え、先生方に学んで頂く機会を増やしていきたい。



教職員研修

(3) 教員免許更新講習

「具体的な講座名」

ICTを活用した授業づくり

「対象」

教員免許更新講習対象者

「内容」

本市と包括的連携協定を結んでいる共栄大学と協力し、下記の3点を中心にした内容で実施している。

- ①タブレット端末や電子黒板などのICT機器を活用することで「わかる授業」が実現することを理論と実践を通して学ぶ。
- ②ICT活用の小技やちょっとした工夫を紹介し、パソコンを使った教材づくりを体験する。

③情報モラル教育を推進するための知識や指導法を実践事例を通して身に付け、指導力の向上を図る。

「成果」

様々な校種の受講生が参加し、大変好評である。また、今年度で3年目を迎えるが、市内の小中学校の教員の参加も増えてきている。

「課題・今後の取り組み」

さらにICT機器や情報教育に関わる最新情報を提供できるように、講座内容を刷新していきたい。



教員免許更新講習

3. おわりに

社会教育と学校教育の振興が図れるように上記の特色ある講座だけでなく、その他の講座や事業に対して、満足度調査の結果及び社会や学校のニーズを見極め、次年度の計画を立案していきたい。

本センターの講座や事業は、他にも多岐に渡っている。詳しくは下記を参照していただきたい。

埼玉県春日部市視聴覚センター

<http://www.av-center.kasukabe.saitama.jp/>

全視連専門委員会

全国をブロック別に分け、専門委員を委嘱し、主としてブロックの情報交流や拠点における研究・研修事業の推進。また、全国大会における全視連関係分科会での指導助言・運営・記録等の協力体制をご支援・ご協力いただいています。

専門委員長	村上長彦（全国視聴覚教育連盟専門委員長）
副専門委員長	丸山裕輔（新潟県阿賀町立上川小学校長）
事業担当委員	高橋敏幸（茨城県阿見町立朝日中学校講師） 小島靖子（千葉県総合教育センター研究指導主事）
東北ブロック委員	佐野真哉（仙台市教育局生涯学習課社会教育主事） 富手冬樹（盛岡教育事務所主任社会教育主事）
関東ブロック委員	樋口 誠（埼玉県春日部市視聴覚センター指導主事） 田辺 剛（栃木県総合教育センター社会教育主事）
近畿ブロック委員	高見晴彦（兵庫県丹波篠山市視聴覚ライブラリー係長）

▽NEWS 「eスクール ステップアップ・キャンプ2019 西日本大会」

(一財)日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教員連
合会主催、文部科学省共催による表記研修会が、
令和2年1月18日(土)に岡山県倉敷市児島文
化センターにおいて開催される。

【基調講演】

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教
育課情報教育振興室室長補佐／小林 努氏

【模擬授業】

- ・「水中の物体に働く力」鳥取県岩美町立岩見中
学校／岩崎有朋教諭

【特別授業】

- ・「Chrombook を活用した授業体験」岡山県立
林野高等学校／三宅杏奈教諭

【デジタルポスターセッション】

- ・15名の小学校・中学校教諭によるICT活用実
践事例発表

【パネルディスカッション】

「教育クラウドの可能性と今後の展開」

コーディネーター

堀田博史氏(園田学園女子大学 教授)

登壇者

- ・小林 努氏(文部科学省初等中等教育局情報教
育・外国語教育課情報教育振興室室長補佐)
- ・渡部 誉氏(西条市役所総務部 ICT 推進課副課
長)
- ・川畑寛明氏(箕面市教育委員会子ども未来創造局
教育センター副所長)
- ・尾島正敏氏(倉敷市教育委員会倉敷情報学習セン
ター館長)

【ICT教材・機材体験展示(30社)】

●参加申込や詳細は下記まで。

<http://eschool.javea.or.jp/>

▽えすけーぷ

地球の環境問題として、プラスチックの削減が
緊急を要する課題として挙げられています。石油
から作られるプラスチックが私たちの生活に活か
されるようになって、生活が随分変わりました。
しかし、廃棄された後、分解されるまでに大変長
い時間がかかることや、ゴミとなったプラスチッ
クが海洋汚染を引き起こし、さらにはマイクロプ
ラスチックとなって様々な海の生物に悪影響を与
えていることも分かっています。

では、プラスチックをどう減らすか、というこ
とになると、なかなか具体案が出てこないのが現
状ですが、プラスチックストローを使わないとい
う運動が世界的に広がっています。実はプラスチ
ックの使用量に占めるストローの割合は1~2%
程度なのですが、レジ袋の削減、ペットボトルの
削減という取組みと同じように、プラスチックス
トローの削減が取り組まれています。

このきっかけとしては、海ゴミのストローが鼻

に刺さったままになったウミガメを保護する映像
が多くの人に広まったことが大きな影響力を持っ
たといわれています。たった一匹のウミガメの映
像ですが、多くの人に広まることで、大きな影響
力を持った訳です。

これは映像の持つ力の一つの表れだろうと思
います。プラスチック問題を訴える多くの論文、記
事では動かなかった企業や消費者が、鼻にスト
ローが刺さったウミガメが保護される映像によ
って意識と行動が変えられていったのです。

一方で、湾岸戦争の際に、油にまみれた水鳥の
映像がサダム・フセインの環境テロによる結果だ
として宣伝され、戦争の正当化に利用されたとい
うこともあります。映像の力が一歩間違えると負
の方向に働いてしまうということも事実です。

視聴覚教育の普及に携わる私たちは、各施設で
提供する映像の内容をどこまで理解し、表現され
ている内容が問題ないものなのかを確認できて
いるでしょうか。映像が持つ力と負の力の両面があ
るということを絶えず意識しながら携わってい
きたいものです。(TM)

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PFビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

平和教育

アゲハがとんだ -1945・3・10東京大空襲-

1945年3月10日の東京大空襲をテーマに、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴える平和教材アニメーションです。



教育映像祭優秀賞受賞

字幕版付き

(20分) 66,000円(税抜)
学校特別価格 33,000円(税抜)

薬物乱用防止

薬物乱用は なぜいけないのか

青少年の薬物乱用を防止するための、ドラマ形式の教材です。薬物乱用から薬物依存になっていく恐ろしさを伝え、薬物を拒絶する強い意志を持たせます。



(19分) 66,000円(税抜)
学校特別価格 33,000円(税抜)

道徳・特別活動

いじめ 心の声に気づく力

小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。一見遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていれば「いじめ」であることを理解し、傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。



教育映像祭最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞

字幕版付き

(19分) 66,000円(税抜)
指導の手引書・ワークシート付き 学校特別価格 33,000円(税抜)

いじめ 一歩ふみ出す勇氣

中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救ってこうとする感動的なストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。



教育映像祭優秀賞受賞

字幕版付き

(19分) 66,000円(税抜)
指導の手引書・ワークシート付き 学校特別価格 33,000円(税抜)

小学校 社会科

なぜなに社会科 映像資料集

DISC1 飲料水・電気

- 知りたい! 浄水場 (11分)
- 知りたい! 火力発電所 (11分)
- 知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

DISC2 ごみ処理・下水道

- 知りたい! 清掃工場 (10分)
- 知りたい! 資源のリサイクル (13分)
- 知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。

監修：東京都台東区立金竜小学校 校長 古谷尚律

- DISC1 3タイトル+映像クリップ 66,000円(税抜)
学校特別価格 33,000円(税抜)
- DISC2 3タイトル+映像クリップ 66,000円(税抜)
学校特別価格 33,000円(税抜)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03(3535)3613 FAX03(3535)3632

予告編 配信 中 <http://www.toei.co.jp/edu/>
教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>